

浜 監 査
平成31年 2月 1日

平成30年度定期監査報告書

浜中町監査委員 串 田 明

浜中町監査委員 川 村 義 春

1 監査の範囲

平成30年4月1日から平成30年9月30日までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理

2 監査の方法

上記「1 監査の範囲」について、関係法令等及び予算に基づき適切に執行されているかを主眼とし、経済性、効率性、有効性の観点にも留意しつつ関係書類による検査及び関係職員からの聞き取りにより実施した。

3 監査の期間

平成30年11月6日から平成30年11月30日まで（10日間）

4 監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理については、概ね適正に執行されているものと認める。

町長部局、各委員会部局、
議会議務局等各係の監査内容（報告）

1 総務課

総務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 総務係

庁舎の維持管理ほか、文書の收受及び発送、許可指令 1 件、認可指令 1 件、補助指令 110 件（前年対比 17 件増）、条例・規則・訓令の公布 60 件（前年対比 16 件増）、告示 30 件（前年対比 17 件減）、自動車臨時運行許可（ナンバー交付）10 件（前年対比 2 件減）を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 100,185 千円に対し、調定額・収入済額ともに 14,745 千円で調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 225,842 千円に対し、支出済額 29,918 千円、執行率 13.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町村会負担金ほか 15 件 2,506 千円が支出済である。

(2) 職員係

職員の任免、賞罰、分限、服務、給与、福利厚生、健康管理、研修等の職員に関すること及び職員団体、職員住宅に関することを分掌しており、健康管理としては、メンタルヘルスの不調を未然に防止することを目的としたストレスチェックを対象者 271 人（実受検者 268 人）に対して行ったほか、健康診断 149 人、人間ドック 102 人の受診に関する管理を行っている。職員研修では、税務事務（基礎）徴収研修や防災・減災対策研修、指導能力研修などの自己研鑽研修への職員派遣、町主催での新規採用職員研修等を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 6,248 千円に対し、調定額 5,923 千円、収入済額 3,114 千円で、調定対比 52.6%である。歳出は、予算現額 1,225,370 千円に対し、支出済額 583,049 千円、執行率 47.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、退職手当組合負担金ほか 3 件 42,095 千円が支出済である。

(3) 交通安全係

交通安全対策、防犯活動及び関係団体に関すること、町有車両の維持管理（37 台）、巡回バス・福祉バスに関すること、生活交通路線確保に関することを主な業務としている。

交通安全指導員（28 人）の出動状況は、うまいもん市や町民駅伝大会、岬まつり・ルパンフェスティバルの中止に伴い、昨年同時期より 5 件減の 2 件であり、出動人員も延べ 31 人と昨年同時期より 28 人減となっている。また、平成 30 年 1 月に発生した交通死亡事故以降、町内の交通死亡事故ゼロ日数は本監査実施日の直近であった 10 月末現在で 285 日となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,100 千円に対し、調定額・収入済額ともに 487 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 49,628 千円に対し、支出済額 13,202 千円、執行率 26.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町交通安全運動推進協議会運営費補助ほか 3 件 1,115 千円が支出済である。

(4) 契約管財係

建設工事の契約及び検査、公有財産の取得・管理処分、備品の管理や公の集会施設維持管理に関

する業務、公営住宅の建設計画、維持管理など財産関係の業務を主としており、詳細は次頁以降のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 128,339 千円、調定額 68,087 千円、収入済額 27,064 千円、調定対比 39.7%。歳出は、予算現額 239,345 千円に対し、支出済額 43,825 千円、執行率 18.3%である。

●土地建物貸付関係

○土地(有償分)

・宅地	74 件 (前年対比 1 件増)	24,519.00 m ² (前年対比 501.17 m ² 増)	1,940 千円 (前年対比 231 千円減)
・干場	68 件 (前年対比 2 件減)	82,291.55 m ² (前年対比 4,226.7 m ² 減)	1,290 千円 (前年対比 60 千円減)
・その他	88 件 (前年対比 28 件減)	151,611.29 m ² (前年対比 30,713.16 m ² 減)	3,272 千円 (前年対比 108 千円減)
計	230 件 (前年対比 29 件減)	258,421.84 m ² (前年対比 34,438.69 m ² 減)	6,502 千円 (前年対比 399 千円減)

○土地(無償貸付分)

123 件 (前年対比 5 件増)	219,417.91 m ² (前年対比 1,479.24 m ² 増)
----------------------	---

○牧野

5 件 (増減なし)	298,502.00 m ² (前年対比 56,967 m ² 減)	184 千円 (前年対比 30 千円減)
---------------	---	-------------------------

○建物

29 件 (増減なし)	29 棟 (増減なし)	2,376 千円 (前年対比 7 千円増)
----------------	----------------	--------------------------

●土地借用関係

40 件 (うち無償 18 件)	214,529.73 m ² 165,978.29 m ²	借地料 1,370 千円 (前年対比 85 千円減)
---------------------	--	-------------------------------

●財産の取得

○土地	4 件 (うち交換 1 件)	69,251.20 m ² 54,925.00 m ²	取得金額 2,025 千円 (前年対比 2,605 千円減)
-----	-------------------	--	-----------------------------------

●財産の処分

○土地	交換 1 件	1,659.54 m ²	処分量 0 千円
○土石	岩石	20,459.00 m ³	処分量 4,419 千円 (前年対比 2,361 千円減)

●職員住宅関係

木造住宅・ブロック造・軽量気泡コンクリートパネル造
14 棟 45 戸

●公有物件共済加入状況

職員住宅ほか(共済責任額 7,675,626 千円) 分担金 1,938 千円

●町有施設保守管理委託状況

一般会計分として、消防用設備点検等（43 施設）3,348 千円、浄化槽保守点検（13 施設）807 千円、自家用電気工作物保安管理（15 施設）2,917 千円、暖房設備保守点検（16 施設）1,673 千円、地下タンク及び地下配管点検（12 施設）373 千円、排水再利用装置保守管理（4 施設）2,009 千円、昇降設備保守点検（2 施設）1,491 千円、煙道中の排ガス測定（4 施設）292 千円。これに浜中診療所特別会計分 4 施設 447 千円を合わせた合計 113 施設 13,357 千円分の業務について委託契約を締結している。

●町営住宅管理状況

町営住宅は、団地数 13 団地、棟数 51 棟、保有戸数 249 戸。入居は 192 戸で 57 戸が空家となっており、このうち 33 戸は入居不能（政策空家含む。）である。

町営住宅使用料の高額滞納に係る徴収等については、他の入居者との公平性を維持する視点からも政策的改善方法が必要である。多重債務者への対応は、収納対策委員会や関係各課で情報共有を図り、今後も一層の債権回収に努められたい。また、町営住宅管理マニュアル（チェックマニュアル）が整備されたので、ルールに則った町営住宅の管理を期待するものである。

●公の集会施設利用状況

公の集会施設（26 施設）は、のべ 1,021 回 20,964 人に利用され、前年対比で利用回数は 94 回減、利用人数は 254 人の増となっている。

なお、9 月末現在の各種工事などの契約状況は次のとおりである。

工事区分	件数	請負金額	対比
土木工事関係	19 件（前年対比 4 件増）	1,420,319 千円	（前年対比 1,287,684 千円増）
建築工事関係	13 件（ 〃 3 件増）	1,220,854 千円	（ 〃 927,559 千円増）
委託事業関係	11 件（ 〃 1 件減）	48,055 千円	（ 〃 46,035 千円減）
合計	43 件（前年対比 6 件増）	2,689,228 千円	（前年対比 2,169,208 千円増）
物品購入関係	8 件（前年対比 1 件減）	25,559 千円	（前年対比 48,885 千円減）

（5）情報管理係

OA化の推進、電子計算機に係る総合調整及びデータ管理・保守、行政情報システムの調査、研究及び行政情報の利用の促進、情報公開、個人情報保護に関することを分掌している。

情報公開・個人情報保護審議委員、情報公開・個人情報保護審査委員には、それぞれ 5 名を委嘱。管轄下の OA 機器の管理・更新等を担当し、30 年度は会議録作成支援システム更新（ASP サービス版の導入）を行っているほか、マイナンバー制度運用に伴い、eラーニングによるマイナンバー制度に携わる職員を対象とした研修（受講者 30 人）の実施やシステム改修への対応も実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,512 千円に対し、調定額・収入済額ともに 2 千円で、調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 52,244 千円に対し、支出済額 20,802 千円、執行率 39.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 3 件 18,069 千円が支出済である。

（6）庁舎建設準備係

前年度に新設された係であり、係長 1 人主事 1 人で役場庁舎建設に関する業務を執行している。

予算執行状況は、歳出のみで、現年度予算現額 58,808 千円に対し、支出済額 11,043 千円、執行率 18.8%となっている。

また、役場庁舎建設工事实施設計委託に係る繰越明許費は、歳出予算現額 159,840 千円に対し、支出済額 159,840 円で執行率 100.0%である。

2 選挙管理委員会

事務局

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

本年度は、道知事道議会議員選挙及び釧路地域北海道議会議員補欠選挙に関する事務を執行しているが、釧路地域北海道議会議員補欠選挙は執行が 10 月 28 日、道知事道議会議員選挙は平成 31 年 3 月告示であるため、本定期監査の期日である平成 30 年 9 月末現在の状況には反映されていない。

予算執行状況は、歳入予算現額 11,522 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%。歳出は、予算現額 12,018 千円に対し、支出済額 377 千円、執行率は 3.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村選挙管理委員会連合会負担金ほか 2 件 44 千円が支出済である。

3 防災対策室

防災係

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

防災計画及び防災対策、緊急災害の統括、防災無線、水防計画、国民保護計画及び国民保護対策、消防に関することを主な業務としており、空き家対策に関することについても担当している。

本年度の津波防災避難訓練については例年同様 5 月 24 日に実施し、546 人（車両台数 310 台）が参加している。昨年より 28 人の減となっており、参加率も 0.5%減の 16.4%と低迷しているため、今後も訓練内容の工夫・改善が必要と思われる。

また、9 月 6 日に北海道胆振東部地震による大規模停電が発生し、当町においても農業被害のほか多くの被害が発生した。北朝鮮による弾道ミサイル発射に関する対応等も含め、各種災害に関する町民への情報提供や防災意識の高揚を図る対策が求められる。

なお、本定期監査の期日後に平成 30 年～平成 34 年までの 5 ヶ年計画である「浜中町空家等対策計画」が策定されたと報告があり、今後は、この計画に沿って対策が講じられることに期待したい。

予算執行状況は、歳入予算現額 400 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%となっており、歳出は、予算現額 300,952 千円に対し、支出済額 141,720 千円、執行率 47.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路東部消防組合浜中消防署負担金ほか 1 件 137,300 千円が支出済である。

4 浜中支所

住 民 係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務であり、再任用職員である業務支援員1人と茶内支所住民係兼務の主査1人、主事1人で業務を遂行している。現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額1,078千円、支出済額500千円、執行率46.4%である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税 金	462 件		5,845 千円
証明手数料	400 件	18 件	176 千円
介護保険料	26 件		259 千円
後期高齢者医療保険料	23 件		476 千円
斎場使用料	2 件		30 千円
収入証紙	17 件		142 千円
水道・住宅料ほか	309 件		2,684 千円
合 計	1,239 件	18 件	9,612 千円
	(前年対比 220 件減)	(前年対比 11 件減)	(前年対比 1,695 千円減)

5 茶内支所

住 民 係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務であり、現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額640千円に対し、調定額213千円、収入済額177千円で、調定対比83.1%となっており、歳出は、予算現額9,458千円に対し、支出済額1,158千円、執行率12.2%である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税 金	902 件		17,535 千円
証明手数料	1,195 件	171 件	529 千円
介護保険料	47 件		405 千円
後期高齢者医療保険料	61 件		862 千円

斎場使用料	3件		45千円
コミュニティセンター使用料	7件		122千円
収入証紙	42件		1,619千円
水道・住宅料ほか	960件		4,534千円
合 計	3,217件	171件	25,651千円
	(前年対比 441件減)	(前年対比 35件増)	(前年対比 7,023千円減)

6 町 民 課

町民課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 町 民 係

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、犯罪人名簿、旅券事務、外国人住民に関することに加え、人口動態、電子署名に係る地方公共団体の認証業務、個人番号の指定・通知、個人番号カードの交付等に関する業務を遂行している。

平成30年9月末現在の住民基本台帳登録人口と世帯数では、人口5,883人(男2,902人・女2,981人)、世帯数2,465世帯となっており、前年対比で人口は117人減(男51人減、女66人減)、世帯数は29世帯の減となっている。

戸籍事務については、本庁で業務を一括して行い、各支所は証明書の交付のみを行っている。

各種証明の取り扱いは、全町で5,157件(うち無料分823件、前年対比32件減)、2,021千円(前年対比24千円減)である。

予算執行状況は、歳入予算現額5,570千円に対し、調定額・収入済額ともに1,663千円で、調定対比100.0%。歳出は、予算現額8,012千円に対し、支出済額4,082千円、執行率50.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、戸籍事務共同運用負担金ほか3件3,312千円支出済である。

(2) 保険年金係

国民健康保険、後期高齢者医療、重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費、子ども医療費、国民年金に関する業務を執行している。

医療費の一部を助成することにより保健の向上に資するとともに、福祉の増進を図ることを目的とした各種医療費給付事業の対象者数は、重度心身障がい者医療給付事業84人(障37人、障老47人。前年対比9人減。)、ひとり親家庭等医療給付事業149人(前年対比1人減)、子ども医療給付事業805人(前年対比33人減)、浜中町精神障がい者医療費助成事業15人(前年対比増減なし)の合計1,053人(前年対比43人減)となっており、必要に応じ、随時助成を行っている。

国民年金については、年金給付、資格得喪、免除申請等の各種申請の進達、日本年金機構釧路年金事務所等からの調査依頼への回答や定期的な福祉年金、障害年金に係る所得調査等を行っている。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額52,746千円に対し、調定額・収入済額ともに1,436千円、調定対比100.0%であり、歳出は、予算現額178,728千円に対し、支出済額62,354千円、執行率34.9%となっている。

平成 20 年 4 月に創設された後期高齢者医療制度は、75 歳以上の者と 65 歳から 74 歳で一定の障がいのある者が対象であり、後期高齢者医療保険被保険者数は 913 人（うち 75 歳未満 28 人。全体数の前年対比は 23 人減。）である。

後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算総額は 78,624 千円であり、歳入では、調定額 53,131 千円、収入済額 25,025 千円で調定対比 47.1%。歳出の支出済額は 27,449 千円で執行率 34.9%となっている。

国民健康保険に関しては、平成 30 年 9 月末現在で被保険者 1,092 世帯（前年対比 53 世帯減）2,530 人（前年対比 117 人減）が加入している。

30 年度は国民健康保険制度の改正により、財政運営の責任は北海道が担い、保険証の発行や療養費等の申請、国保税の課税・徴収事務、保険事業は従来どおり浜中町が行うこととなった。保険給付に必要な費用は北海道が負担するが、その財源として市町村が北海道に対し、「国保事業費納付金」を納める方式となり、北海道は各市町村の医療費や所得等を基準に納付金の額を決定し、市町村はその納付金の額に応じた国保税を課税することとなっている。浜中町においては前年所得をもとに、前年度の繰越金の一部を減税財源に充てるなど税率改正を行っている。

制度改正に伴い国庫支出金や各種交・納付金のほとんどが納付金算定に集約されたことにより、予算科目が昨年度より大幅に縮小した国民健康保険特別会計の歳入歳出予算総額は 1,141,995 千円で、歳入予算の割合は、国民健康保険税 30.30%、道支出金 64.88%、その他収入で 4.82%となっており、歳出では、保険給付費 62.49%、国民健康保険事業費納付金 35.16%、その他支出で 2.35%となっている。

予算執行状況は、歳入は、調定額 760,923 千円、収入済額 499,719 千円で調定対比 65.7%。歳出では、支出済額 484,556 千円で、執行率 42.4%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道国民健康保険団体連合会負担金ほか 1 件 600 千円が支出済である。

（3）生活環境係

公衆衛生、廃棄物の処理及び清掃、墓地及び斎場、畜犬取締り及び野犬掃とう、公害、衛生諸施設の管理運営に関することを主な業務としており、平成 29 年度末まで環境政策係が担当していた業務のうち一部を本年度から担っている。4 月～9 月末現在までの収入証紙売捌状況及び衛生センターの稼働状況、ごみ処理の状況に係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 40,935 千円に対し、調定額 19,606 千円、収入済額 17,625 千円、調定対比 89.9%となっており、歳出は、予算現額 198,874 千円に対し、支出済額 79,029 千円、執行率 39.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、資源リサイクル活動奨励交付金ほか 4 件 3,784 千円が支出済である。

●収入証紙売捌・衛生センター稼働・ごみ処理の状況（4 月～9 月末）

○収入証紙売捌状況

84,015 枚、6,680 千円（前年対比 8,695 枚減、733 千円減）

○衛生センター稼働状況

し尿処理量 968.8kℓ（前年対比 32.0kℓ増）

浄化槽汚泥等処理量 435.8k0 (前年対比 17.1k0減)

○ごみ処理状況

可燃・不燃等・直接搬入・収集ごみ 841.07 t (前年対比 66.70 t 増)

資源物 282.01 t (前年対比 23.74 t 増)

7 企画財政課

企画財政課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 企画調整係

「第5期浜中町新しいまちづくり総合計画」が9年目となり、実施計画は基本構想・基本計画を踏まえたローリングを実施し、31年度に関わる事業の積み残しや前倒し、追加などの精査を行っている。30年度・31年度の2ヵ年で「第6期浜中町まちづくり総合計画」の策定要綱に基づき、町職員による策定委員会やプロジェクトチームを組織し、町民との協働による策定のための「まちづくり委員会」の組織や「町民アンケート」を実施している。「浜中町創生総合戦略」は、「浜中町人口ビジョン」の人口推計等を踏まえた人口減少対策の目標と具体的施策を示すものであり、施策の見直しを図り、第5期総合計画との整合性を勘案しつつ推進に努めている。

辺地計画と過疎計画については、財政上の特例措置を受けるべく、辺地指定と過疎指定を受け、除雪機械や農道の整備等に財源の有効活用を図るよう努めている。

平成31年度における町の重点施策実現のため、関係上級官庁や団体等に対し、北海道釧路総合振興局や釧路地方総合開発促進期成会を通じて要望活動を実施している。

地域の住民活動団体が、自ら行う地域活性化事業などに対して補助を行う「地域振興補助」事業は、4事業997千円の補助決定を行っている。

人づくり事業については、人づくり推進会議委員を14人委嘱し、7事業を採択しており、地域間交流に関することとして「地域おこし協力隊」の募集を行っているが、採用には至っていない状況である。なお、移住・定住政策の一環として、希望者が浜中町での暮らしを体験できるよう、新川地区の旧教員住宅を「お試し住宅」として改修し、家具等の備品を含めすぐに生活できる環境を整えて募集を開始している。

コミュニティ活動の支援事業として、自治会連合会・単位自治会等と連携し、環境美化運動の推進や花いっぱい運動、新生活運動の推進を行っている。加えて「コミュニティ助成事業」の取りまとめを行い、地域活動の活性化を図っており、今年度は熊牛連合会が本事業を活用して調理機器や音響設備等の整備に係る申請を行ったが、配分枠から漏れ承認されなかったため、次年度も申請する予定である。

今年度の各種統計調査は、5月に学校基本調査、6月に平成30年工業統計調査が実施されている。(本定期監査期日以降で10月に平成30年住宅・土地統計調査を実施し、11月に平成30年漁業センサスを実施。)

また、環境政策係が廃止されたことにより、30年度からは環境政策の企画調整及び調査研究、自然環境保全、地域エネルギーに関することなどを新たに分掌している。

予算執行状況は、歳入予算現額 17,004 千円に対し、調定額 2,824 千円、収入済額 2,732 千円、調定対比 96.7%となっており、歳出は、予算現額 78,084 千円に対し、支出済額 14,942 千円、執行率 19.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、地域振興事業補助ほか 9 件 2,111 千円が支出済である。

(2) 広 報 係

行政一般の周知、広報誌の発行、町ホームページ、町史編さん、広聴に関することなどを分掌しており、まちづくりの基本方針や計画、経過、結果等を広報し、行政としての説明責任を果たすとともに、町民との情報の共有化を図り、各種行事の周知や情報を広報誌やホームページによって広く町内外へ発信している。

広聴に関しては、ホームページを使った電子メールや町民との直接対話により、町民からの要望、意見、提言、情報の把握に努め、各課との調整による対応を行っている。

なお、平成 27 年度に発刊した新町史は、今年度、9 月末までに町外価格の 6 千円で 1 件販売している。

予算執行状況は、歳入予算現額 10 千円に対し、調定額・収入済額ともに 6 千円で、調定対比 100.0%となっており、歳出は予算現額 3,807 千円に対し、支出済額 1,989 千円で、執行率 52.2%である。

(3) 財 政 係

予算の編成及び経理、支出命令、地方交付税、町債等を主な業務としている。

本年度の起債予算計上額は 24 件 1,561,162 千円である。この内、臨時財政対策債 164,062 千円が含まれている。29 年度との比較では、3 件増で予算計上額は 95,399 千円減となっており、茶内保育所建設事業に係る起債額が 861,600 千円と大幅に増加しているものの、役場庁舎建設事業に関連する緊防債で 126,900 千円減少し、学校給食センター整備事業の完了に伴う起債額 726,400 千円が減少していることが主な要因と考えられる。

普通地方交付税は交付決定額 2,905,290 千円に対し、9 月末までに 2,920,000 千円を予算化し、2,214,854 千円が収入済となっている。

なお、30 年度に関しては、財政力指数 3 ヶ年平均 20.7% (単年度 22.0%)、実質公債費比率 10.5%、将来負担比率 73.9%、経常収支比率 83.5%、地方債借入年度末残高 8,845,510 千円を見込んでいる。

8 福祉保健課

福祉保健課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 福 祉 係

災害救助、児童・ひとり親家庭・心身障がい者、生活保護、高齢者福祉及び高齢者相談、在宅福祉サービス、地域生活支援事業ほか、主に社会福祉に関することを分掌している。

15 歳到達後最初の年度末までが対象となる児童手当は、6 月支給分児童数が延べ 2,705 人 (前年対比 93 人減)、支払額 28,430 千円 (前年対比 1,330 千円減) である。生活保護の状況は、老人 25

世帯(27人)、母子4世帯(11人)、傷病15世帯(25人)、障害7世帯(7人)施設入所6世帯(6人)、その他1世帯(1人)で、合計58世帯(被保護人数77人)、前年対比1世帯増(被保護人数3人増)である。放課後児童クラブでは、児童54人(霧多布25人、茶内29人。前年同数。)に対して6人(前年対比1人増)の指導員を配置している。9月末までの身体障害者手帳の交付状況は、新規交付7件、再交付1件、住所変更3件、返還4件、却下1件であり、手帳保有者は296人(うち重度障がい者数116人)前年対比19人減となっている。

町単独の敬老週間事業では、例年8月末日現在で対象者を選定し、満88歳の方33人(男10人、女23人)に3万円、満99歳の方1人(男1人)に5万円の敬老祝い金を9月末日までの間に贈呈している。

日常生活用具貸付事業では、日常生活用具(ベッド19台、マット19枚、車椅子15台、エアーマット1枚)の貸付、緊急通報装置の設置(貸付)35台を行っており、高齢者バス利用助成事業ではバス券317冊を交付している。

なお、4月に発生した住宅火災1件に対し、災害見舞金として50千円が支出済である。

また、自立支援ホームヘルプサービス事業(登録者19人)、外出支援サービス事業(登録者69人)については、浜中町社会福祉協議会に委託のうえ、登録者へ各サービスの提供を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額210,813千円に対し、調定額95,385千円、収入済額94,454千円、調定対比99.0%となっており、歳出は、予算現額444,786千円に対し、支出済額218,776千円、執行率49.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町社会福祉協議会補助ほか19件59,323千円が支出済である。

(2) 健康推進係

町民の健康増進、母子保健及び成人保健、歯科指導及び栄養指導、感染症その他疾病の予防に関することなどを分掌しており、平成29年度末まで分掌していた地域包括支援センターに関する業務は、本年度新設された地域包括支援係へ移行されている。

成人対策では特定健康診査、各種がん健診などを実施し、母子対策では乳幼児の各種健診や相談事業に加え、産前産後サポート専門相談及び産前産後ケアを助産院マタニティアイに委託のうえ実施し、専門相談利用実績0件(前年対比9件減)、産前ケア利用が0人(前年対比3人減)、宿泊型の産後ケア利用は1人(前年同数)で延べ1回である。その他感染症対策として予防接種事業の実施やエキノコックス症対策、広域救急医療対策としてティーベック株式会社委託の24時間電話相談可能な「浜中町健康・医療相談ダイヤル24」事業、栄養対策、歯科対策など、広く町民の健康維持・増進などに関わる保健事業等を実施している。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額28,340千円に対し、調定額・収入済額ともに24,550千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額91,971千円に対し、支出済額58,485千円、執行率63.6%である。

国民健康保険特別会計のうち健康推進係に関する予算執行状況は、歳入予算現額3,254千円に対し、調定額・収入済額ともに350千円で調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額6,369千円に対し、支出済額3,255千円、執行率51.1%である。

また、平成29年度まで配分されていた介護保険特別会計の健康推進係に関する予算は、関係業務とともに地域包括支援係へ移行されている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、厚岸郡広域救急医療体制負担金ほか7件16,120千円が支出済である。

(3) 介護保険係

介護保険に関すること、ケアマネジメントセンターに関することを分掌している。

介護保険の申請状況は、新規・更新を合わせ第1号被保険者が148人、第2号被保険者(40歳～64歳)が4人、合計152人(前年対比10人減)である。

介護度別人数は、要支援1(11人)、要支援2(33人)、要介護1(61人)、要介護2(49人)、要介護3(44人)、要介護4(38人)、要介護5(30人)の合計266人となっており、そのうち施設入所または居宅サービスの利用人数は228人(前年対比18人減)である。

9月末現在の介護保険料の収入状況は、調定額101,888千円に対し、収入済額46,207千円で、収納率は45.4%となっており、前年対比0.9%の増である。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額4,772千円に対し、調定額・収入済額ともに1,560千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額71,428千円に対し、支出済額385千円、執行率0.5%である。

介護保険特別会計の歳入歳出予算総額は479,234千円で、歳入予算現額479,216千円に対し、調定額248,973千円、収入済額192,804千円で調定対比77.4%。歳出は、予算現額449,868千円に対し、支出済額166,497千円で執行率37.0%となっている。(歳入歳出の予算現額は、地域包括支援係への配当分を除いた額で記載。)

補助金、負担金及び交付金の状況は、退職手当組合負担金ほか2件274千円が支出済である。

(4) 地域包括支援係

平成30年度新設された係であり、地域包括支援センターに関すること、介護予防・日常生活総合事業に関する業務に係長1人、主査1人、嘱託職員2人の4人で執行している。

介護予防・日常生活支援総合事業では、健康教室やハツラツ倶楽部わっはっは、ほのぼのくらぶなどの介護予防教室に加え、第1号事業(介護予防訪問介護、介護予防通所介護)をしゃきょう介護センターえぞふうろ、デイサービスセンターハイツ野いちごに委託のうえ実施しており、「配食サービス」事業では、地域生活支援センター・ハート釧路及び町社会福祉協議会と委託契約を結び、9月末までに高齢者9人、要支援者4人に対し、123回の配食を実施している。地域包括支援センター事業としては、福祉保健課及び関係機関(社会福祉協議会、診療所、野いちご、訪問看護ステーションなど)の担当者によるケア会議を月2回開催しているほか、総合相談として、延べ349件(内訳は、電話75件、来所29件、訪問245件)の介護保険に関することや自立支援サービスに関すること、医療との連携や状況・安否確認などに関する本人や家族、関係機関や民生委員等からの相談に対応している。

介護保険特別会計のうち包括支援係に関する予算執行状況は、歳入予算現額17千円に対し、調定額・収入済額ともに8千円で調定対比100.0%。歳出は、予算現額29,366千円に対し、支出済額16,930千円、執行率57.6%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道在宅介護支援センター負担金30千円が支出済である。

9 町立浜中診療所

総務係・医事係

町立浜中診療所各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

歳入歳出予算総額 254,126 千円で、歳入予算の構成割合は、診療収入 33.9%、使用料及び手数料 3.7%、国庫支出金 0.9%、繰入金 55.3%、諸収入 0.4%、町債 5.8%となっており、診療収入の伸びは見られるが一般会計からの繰入金等（繰入金と町債で 61.1%を占める。前年対比 1.9%減。）が多く、経営上厳しい状況であることに変わりはない。歳出の予算構成割合では、総務費 87.3%（総務費の構成割合は、浜中診療所維持管理に要する経費 8.1%、浜中診療所運営に要する経費 91.9%。）、医業費 10.2%（医業費の構成割合は、医業に要する経費 82.7%、入院患者等寝具に要する経費 3.9%、入院患者等給食に要する経費 13.4%）、公債費 2.5%となっており、支出のうち大きな割合を占めるのは、医師報酬、職員給料及び職員手当、共済費、医師・臨時職員雇上賃金で歳出予算の 72.9%となっている。

経営状況は、9月末現在の医業収益で前年対比患者数 1,384 人、金額で 5,757 千円の増が認められる。茶内診療所の休止及び整形外科医師を繁忙期（7月～10月）は月 1 回、それ以外の月は月 2 回派遣されていることに伴い、患者増が見受けられるが、人件費等に係る支出額の大きさは変わらない状況であるため、引き続き早期の経営改善策の検討や抜本的経営体制の見直しが必要と思われる。

予算執行状況は、歳入では、調定額 51,114 千円に対し、収入済額 50,613 千円、調定対比 99.0%となっており、歳出は、支出済額 118,898 千円、執行率 46.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路市医師会費ほか 3 件 142 千円が支出済である。

10 税 務 課

課税係・収納係

税務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

本年度の町税収納率は、9月末で普通税の調定額 783,531 千円に対し、収入済額 461,562 千円で 58.9%、国保税は調定額 384,213 千円に対し、収入済額 123,042 千円で 32.0%の収納率となっており、前年対比では、普通税収納率 4.1%の増、国保税収納率 0.7%の減となっている。

なお、町民の利便性向上及び収納強化のため、平成 29 年度より町道民税・軽自動車税・固定資産税・国保税はコンビニ・郵便局で納付可能な体制を整備、実施しており、本年度は各種税外金のコンビニ納付も可能となっている。収納対策として有用な効果を発揮するよう今後町民への更なる周知を行うとともに、納付意識の向上に期待するものである。

また、町税等の納付に対する町民の公平性と信頼を確保するため、町独自での収納困難な滞納事案を抽出し「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」に引継ぎ、滞納の解消に努めており、各種税外金についても所管している部署との連携を図り、収納対策委員会の開催や随時指導を行い、収納業務に尽力している。

予算執行状況は、国有資産等所在市町村交付金及び納付金、道支出金の総務費委託金で歳入予算現額 9,261 千円に対し、調定額・収入済額ともに 4,973 千円で、調定対比 100.0%である。歳出は、税務総務費、賦課徴収費で予算現額 10,250 千円に対し、支出済額 5,127 千円、執行率 50.0%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路・根室広域地方税滞納整理機構負担金ほか 2 件 545 千円が支出済である。

11 出 納 室

出 納 係

現金の収入保管、支払及びその記録等については例月出納検査により立証されているため、その他の事務について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 689 千円、支出済額 135 千円で、執行率は 19.6%である。

12 建 設 課

建設課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 土 木 係

道路橋梁の維持管理、河川に関する事、都市計画や地籍に関する事など、主に土木に関する事全般にわたる業務を行っている。

道路及び河川の占用許可数は、道路 58 件（前年対比 29 件減）、河川 64 件（前年対比 1 件増。64 件の内訳は土地 43 件、工作物 21 件）となっている。

工事執行状況は、土木工事など 6 件（前年対比 2 件減）で請負金額 64,076 千円（前年対比 10,390 千円減）、調査設計等委託業務 7 件（前年同数）、請負金額 56,432 千円（前年対比 15,608 千円減）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 52,297 千円に対し、調定額 1,942 千円、収入済額 1,937 千円、調定対比 99.7%となっており、歳出は、予算現額 198,851 千円に対し、支出済額 20,951 千円、執行率 10.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道土木積算システム連絡協議会負担金ほか 2 件 283 千円が支出済である。

(2) 建 築 係

建築基準法、建築指導、建設リサイクル、建築物の設計及び施工管理などのほか、屋外広告物や融資住宅に関する事務を担当している。

本年度は、建築確認申請 7 件（前年対比 4 件増）、建設リサイクル法に係る通知 22 件（前年対比 3 件減）を 9 月末までに受理・受付しており、工事等の執行状況は、建築工事など 10 件（前年対比

3件増)で請負金額1,165,536千円(前年対比972,756千円増)、調査設計等委託業務2件(前年対比2件減)で請負金額17,528千円(前年対比20,974千円減)となっている。

安心住まいの促進事業は、9月末現在17件(前年対比4件減)の申請があり、この事業に伴う金券発行額は1,893千円(前年対比605千円増)となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額520千円に対し、調定額・収入済額ともに0円、調定対比0.0%となっており、歳出は、予算現額4,142千円に対し、支出済額1,462千円、執行率35.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、既存住宅耐震改修費補助金(予算現額600千円)を予算化しているが、9月末現在申込者はなく、それに伴う支出もない状況である。

(3) 下水道係

主に下水道及び集落排水事業に関する業務を執行している。

本年度の工事等の執行状況は、公共下水道工事1件で請負金額21,276千円、農業集落排水工事1件で請負金額918千円、調査設計等委託業務3件で請負金額9,860千円となっている。

下水道事業特別会計の歳入歳出予算総額は407,078千円であり、歳入は、調定額36,686千円、収入済額31,071千円、調定対比84.7%。歳出では、支出済額143,017千円、執行率35.1%となっている。

なお、歳出において、一般会計から下水道事業特別会計への繰出金として279,325千円が予算化されているが、9月末現在での繰出しは行われていない。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか9件926千円が支出済である。

13 商工観光課

商工観光課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 観光係

観光の振興、自然公園の保全と利用、湿原センターの管理運営委託、霧多布湿原学術研究支援制度に関することを主な業務としている。

観光客誘致宣伝として、観光広告の掲載ほか、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、くしろ圏観光キャンペーン促進協議会、釧路町・厚岸町・浜中町で形成される三町広域観光推進協議会、釧路町村会地域づくり広域プロジェクト事業へ参加・協力しており、各種観光パンフレットや資料などの配布を行っている。

地域活性化を目指すルパン三世関連事業の展開では、プロジェクト会議によりルパン三世フェスティバルの開催やラッピングバス運行事業、ホームページの更新等を実施。本年度は胆振東部地震の発生により、物流等に影響があったため、岬まつりとの同時開催を予定していたルパン三世フェスティバルのステージイベントは中止となったが、9月1日から30日までの期間でスタンプラリーを行っている。

なお、浜中うまいもん市は前日時点で開催日の荒天が予測されたため、岬まつりはルパン三世フ

ェスティバル同様、胆振東部地震発生による物流等の影響を受け、いずれも中止となっている。

また、琵琶瀬展望台、霧多布岬展望台にて観光客の入り込み調査も行っており、調査の結果、観光客は 230,080 人（前年対比 92,522 人減）、宿泊客数延べ 7,600 人（前年対比 821 人増）となっている。

キャンプ場の利用状況では、有料であるバンガロー利用が 833 人、426 棟（前年対比 101 人減、1 棟増）、休憩舎利用は 101 人、8 件（前年対比 127 人、6 件減）となっており、無料のテント利用は 1,173 張 1,502 人（前年対比 28 張、5 人減）である。

なお、本年度は霧多布湿原学術研究支援制度による助成支援を新規で 2 件 566 千円交付している。

予算執行状況は、歳入予算現額 2,252 千円に対し、調定額 762 千円、収入済額 756 千円、調定対比 99.2%となっており、歳出は、予算現額 67,246 千円に対し、支出済額 55,103 千円、執行率 81.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、霧多布湿原センター管理運営負担金ほか 13 件 42,616 千円が支出済である。

（2）商工労働係

商工業の振興、商工団体、地場産品等の振興、中小企業、企業誘致、消費生活、計量器、労働事業の調査及び相談教育、労働者の福祉・共済に関することなどを分掌している。

商工業者の振興に資する商工機器等購入資金貸付事業では、11 月開催の購入資金貸付委員会後に 3 件 9,920 千円（前年対比 1 件減、4,060 千円増）の貸付を行うこととなっており、地場産品等の振興を目的として 9 月 27 日から 30 日までの 4 日間、さっぽろオータムフェスト 2018「札幌大通ふるさと市場」に参加し、本町の商品宣伝を図っている。

中小企業者を対象とした特別融資制度を設け、原資 40,000 千円を大地みらい信用金庫に預託し、4～9 月末までに 5 件 17,880 千円の融資を行っている。

労働業務としては、労働者の福祉・共済に向けた出稼ぎ手帳の交付、技能尊重運動及び事業内職業訓練等に関する業務を実施している。

なお、30 年度は過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業として、商工会の行う「地域外需要獲得強化等による浜中町活性化事業」に対し、15,980 千円の補助を行っている。

また、商工業者の担い手確保に向け 29 年度から開始した商工業後継者就業交付金事業による支援対象者は、9 月末現在申請がない状況である。

予算執行状況は、歳入予算現額 47,617 千円に対し、調定額・収入済額ともに 26 千円で、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 94,129 千円に対し、支出済額 80,912 千円、執行率 86.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町商工会事業補助ほか 12 件 40,534 千円が支出済である。

（3）ふれあい交流・保養センター係

主にセンターの管理運営、利用拡大に関すること、センターに付随する風力発電に関することの事務を執行している。

町民の保養と健康づくりを通じて交流を図るとともに、災害時における避難施設としての活用を図ることを目的とした施設であり、30 年度は 9 月末現在で入浴者 28,853 人（前年対比 727 人減。営業日数 174 日、1 日平均 165.8 人）が利用している。入浴料収入（室料含む。）は、12,634 千円（前年対比 441 千円減）、売店等による収入は 7,684 千円（前年対比 291 千円増）となっており、入浴者

数に伴う入浴料収入は減少しているものの、売店等による収入は前年より増加している。

なお、ふれあい交流・保養センターの管理運営等に関しては、霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェクト（代表 株式会社クロエ）に平成30年10月から平成35年3月までの指定管理委託が決定している。

風力発電については、7～9月にかけて故障により停止していたが、9月末現在で238,091kWhの発電量から余剰電力分の167,600kWh、3,982千円を売電している。

予算執行状況は、歳入予算現額36,424千円に対し、調定額24,320千円、収入済額23,672千円、調定対比97.3%となっており、歳出は、予算現額124,980千円に対し、支出済額36,421千円、執行率29.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、電力量計取替工事費負担金ほか3件249千円が支出済である。

（４）中山間活性化施設係

施設の管理運営、利用拡大に関することを分掌しており、臨時職員2人、パート職員2人が常勤し、係長は商工労働係長が兼ねている。

中産間活性化施設（Moo-TToka）は、農・漁業の生産物に付加価値を付けるための研究や開発を目的とした施設であり、町内の多くの女性団体や個人の利用のほか、青少年の農産物加工体験、各種講習会を開催している。9月末現在の利用者並びに来館者は延べ3,172人（前年対比1,206人減）となっており、施設内の利用のほか敷地内のパドックを利用した乗馬体験やキャンプ場の活用を通じ、地域と都市の交流を図っている。（ヒグマが出没することから、キャンプ場の開放は7月以降控えている状況である。）

予算執行状況は、歳入予算現額752千円に対し、調定額227千円、収入済額224千円で、調定対比98.7%となっており、歳出は、予算現額13,645千円に対し、支出済額6,769千円、執行率49.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路地方食品衛生協会負担金ほか1件11千円が支出済である。

14 水 道 課

水道課は、水道事業会計については出納室同様、支払及びその記録等が例月出納検査により立証されているため、一般会計部分で水道係所管の関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

水 道 係

予算執行状況は、歳入予算現額84,382千円に対し、調定額42,848千円、収入済額42,056千円、調定対比98.2%となっており、歳出は、予算現額76,188千円に対し、支出済額32,372千円、執行率42.5%である。

○使用料納入状況	調 定 額	収入済額	収 入 率
農業用水	39,042千円	38,850千円	99.5%

15 議会事務局

議事係・庶務係

議会事務局各係について、提出資料に基づき説明を求め、関係書類の整理及び事務執行について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 56,971 千円に対し、支出済額 31,183 千円、執行率 54.7% となっており、主な支出は、議会議員に要する経費の報酬・手当 20,012 千円、共済費 7,579 千円、旅費 2,173 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内町村議会議長会負担金 409 千円が支出済である。

16 監査委員事務局

監査係

関係書類の整理及び事務執行、提出資料について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 2,109 千円に対し、支出済額 953 千円、執行率は 45.2% となっており、主な支出は監査委員報酬の 843 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村等監査委員協議会負担金として 22 千円が支出済である。

17 水産課

水産課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 港湾係

港湾に関すること全般、国土交通省港湾局所管に係る海岸保全に関することを業務としている。

港湾施設の利用状況は、港湾施設用地使用料 9 件 646 千円（前年対比 10 件 259 千円減）、物揚場・岸壁使用料 217 件 163 千円（前年対比件数増減なし、5 千円増）、漁船捲揚施設使用料 44 件 1,798 千円（前年対比 8 件減、94 千円増）、船揚場使用料 49 件 0 円（前年対比件数・金額ともに増減なし）となっており、合計は 319 件 2,608 千円（前年対比 18 件 159 千円減）である。

本年度は霧多布港整備事業計画により、事業費 70,000 千円、町負担 15,450 千円で港湾施設用地（琵琶瀬湾）及び航路の整備を行い、霧多布港海岸における津波対策事業として、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、霧多布港海岸防潮堤嵩上改良工事を 13,122 千円で実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 15,846 千円に対し、調定額 5,056 千円、収入済額 2,608 千円、調定対比 51.6% となっており、歳出は、予算現額 64,103 千円に対し、支出済額 5,924 千円、執行率

9.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道港湾協会負担金ほか1件165千円が支出済である。

(2) 漁政係

水産業関係団体、漁業制度資金、漁業の担い手確保、沿岸漁業の振興、水産物の流通加工及び衛生管理、船員法、漁港整備計画及び利用、海岸保全に関することのほか津波防災ステーションの管理運営に関する業務も執行している。

漁業機器等購入資金貸付事業では、浜中・散布の2漁協関係分を合わせ7件7,510千円（前年対比2件830千円増）の貸付を行い、その償還状況は、歳入予算現額20,916千円に対し、10月上旬以降入金予定のため、9月末現在では調定額・収入済額ともに0円、調定対比0.0%となっている。

また、漁業の担い手確保に向け、漁業後継者就業交付金事業による支援対象者として11人を承認し、道立漁業研修所総合研修受講補助として2人に支援を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額32,493千円に対し、調定額・収入済額ともに9千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額92,691千円に対し、支出済額23,097千円、執行率24.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、漁業近代化資金利子補給ほか12件3,431千円支出済である。

●登録漁船数、陸揚量、陸揚金額の状況等（港勢調査の概要（平成28年分）より）

対象漁港：散布、琵琶瀬、榊町、浜中（奔幌戸）、浜中（貫人） 5漁港

登録漁船数 627隻 陸揚量 6,821t 陸揚金額 1,832,785千円
 （前年対比9隻減） （前年対比12t増） （前年対比370,776千円減）

●漁業近代化資金利子補給承認状況

（単位：千円）

	浜中漁業協同組合		散布漁業協同組合		北海道信漁連		合計	
	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額
1号資金	9	24,730	4	4,240	-	-	13	28,970
2号資金	4	12,600	1	7,000	-	-	5	19,600
3号資金	-	-	2	4,900	-	-	2	4,900
4号資金	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	13	37,330	7	16,140	0	0	20	53,470
前年対比	△2	△8,610	2	3,140	-	-	-	△5,470

(3) 水産振興係

水産業に係る環境保全、栽培漁業、沿岸漁場の整備開発、水産業に係る試験研究の調整、漁業技術の改良普及、水産資源の管理に関することを業務としている。

本年度は、平成29年度より引き続き5ヵ年計画の新川船揚場整備事業で左側上部コンクリートL=53m、鋼矢板打設L=16.2m、既設構造撤去24.3mの整備改修工事を行うこととしている。栽培漁業であるウニの種苗確保、安定供給に向けた種苗生産センターの建設に向け、関係機関との協議を進めており、建設に向けた整備予定地の地質調査を行うこととなっている。また、浜中漁協のカキ養殖試験事業に対して水産振興基金を財源に9,430千円を補助し、散布漁協のチカ増殖事業に対し

シュロブラシ 200 本ほかを支援している。平成 31 年 3 月には水産物付加価値向上を目的とし、ブランド化や販売促進活動への支援で札幌市（ポールスター札幌）での物産展を開催予定である。

予算執行状況は、歳入予算現額 16,161 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0% となっており、歳出は、予算現額 83,803 千円に対し、支出済額 11,270 千円、執行率 13.4% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、カキ養殖試験事業補助ほか 8 件 10,262 千円が支出済である。

18 保 育 所

保育業務係

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

常設の霧多布保育所（定員 140 人）及び茶内保育所（定員 60 人）は、定員 200 人に対して 129 人（前年対比 6 人増）の幼児が入所している。霧多布保育所は 56 人（5 歳児 12 人、4 歳児 17 人、3 歳児 7 人、2 歳児 13 人、1 歳児 5 人、0 歳児 2 人）の幼児に対し、保育士 9 人（前年対比増減なし）、管理栄養士 1 人、調理員 2 人の体制であり、茶内保育所は 73 人（5 歳児 23 人、4 歳児 17 人、3 歳児 14 人、2 歳児 10 人、1 歳児 6 人、0 歳児 3 人）の幼児に対し、保育士 10 人（前年対比増減なし）、調理員 2 人で対応している。

このほか、子育て支援センターでは本年 4 月 5 日から 9 月 28 日までの期間で延べ 421 人の利用に対して保育士 1 人が対応しており、霧多布保育所にて実施している一時預かり保育では 4 月～9 月末までに利用登録 9 世帯、延べ 46 人に対し保育士 1 名が対応し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めている。

なお、両保育所とも避難訓練（火災、地震、不審者）を 6 回ずつ実施しているほか、運動会や遠足など年次計画に基づき各行事を行っている。

へき地保育所の運営については、散布・浜中・姉別の 3 ヶ所を開設し、幼児数 43 人（前年対比 1 人増）に対して保育士 7 人（前年対比増減なし）で保育にあたっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 222,248 千円に対し、調定額 33,829 千円、収入済額 22,018 千円、調定対比 65.1% となっており、歳出は、予算現額 1,112,487 千円に対し、支出済額 395,974 千円、執行率 35.6% であり、主な支出済額は、茶内保育所改築工事に係る工事請負費（前払金）の 366,826 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内保育連合会負担金ほか 2 件 96 千円が支出済である。

19 農 業 委 員 会

農政係・農地係

農業委員会各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

予算執行状況は、歳入予算現額 10,508 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,427 千円、調定対比 100.0% となっており、歳出は予算現額 12,909 千円に対し、支出済額 5,836 千円、執行率 45.2%

である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道農業会議拠出負担金ほか1件273千円支出済である。

●農地法許可関係

農地法第3条	(売買)	3件	144,828.29 m ²	(前年: 2件	173,677 m ²)
〃	(贈与)	1件	74,830 m ²	(前年: 1件	85,546 m ²)
〃	(賃貸借)	12件	2,099,540.04 m ²	(前年: 12件	2,004,375 m ²)
〃	(使用貸借)	6件	2,870,458 m ²	(前年: 1件	675,252.36 m ²)
農地法第4条	(農地転用)	5件	22,648 m ²	(前年: 3件	18,189 m ²)
農地法第5条	(農地転用)	1件	5,426 m ²	(前年: 1件	2,000 m ²)
●農地保有合理化事業(売渡)		1件	63,793 m ²	(前年: 2件	298,975 m ²)
●農地中間管理事業(賃貸借)		0件	0 m ²	(前年: 0件	0 m ²)

●農業経営基盤強化促進事業

農地利用集積円滑化事業(買入)	3件	1,280,442 m ²	(前年: 5件	2,717,578 m ²)
〃(売渡)	2件	306,004 m ²	(前年: 0件	0 m ²)
〃(賃貸借)	3件	833,284 m ²	(前年: 11件	1,400,403 m ²)
利用権設定等促進事業(賃貸借)	9件	2,125,983 m ²	(前年: 11件	1,274,383.07 m ²)
〃(利用権移転)	3件	406,808.25 m ²	(前年: 3件	239,891 m ²)

●利用集積計画公告件数

公告内容	件数	面積
所有権移転	6件	1,650,239 m ²
賃貸借設定	12件	2,959,267 m ²
利用権移転	3件	406,808.25 m ²

●土地の現況証明願件数

7筆 37,776 m² (内訳: 所有権移転2筆、地目変更5筆)

●農業者年金申請等の状況

裁定請求(新制度)	4件	(内訳: 老齢年金3件、特例付加年金1件)
〃(旧制度)	2件	(内訳: 老齢年金1件、経営移譲年金1件)
未支給年金請求	6件	
新規加入	3件	
その他届出	15件	(内訳: 資格喪失、住所・加入区分変更ほか)

●農地所有適確法人数

15法人(前年対比4法人増)

20 農 林 課

農林課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 林 務 係

主に、町有林、民有林の経営指導、治山事業、鳥獣保護、自然保護、有害鳥獣の駆除に関する事などについて事務を執行している。

町有林整備事業では、人工造林、下刈、複層林下刈、野鼠駆除を予算 16,692 千円で実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 64,917 千円に対し、調定額・収入済額ともに 10,105 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 83,964 千円に対し、支出済額 27,164 千円、執行率 32.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町鳥獣被害防止対策協議会負担金ほか 6 件 1,437 千円が支出済である。

(2) 農業振興係

農業の振興、農業基盤整備、農業農村整備に関することを分掌しており、農業の振興として中山間地域等直接支払交付金事業などに係る事務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 237,442 千円に対し、調定額・収入済額ともに 28,889 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 325,490 千円に対し、支出済額 12,345 千円、執行率 3.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、農地・水保全多面的機能支払交付金ほか 3 件 11,191 千円が支出済である。

(3) 農 政 係

農村生産団体、農業担い手、産業振興資金（家畜購入）、農業制度資金、家畜伝染病予防に関する事などを主な業務としている。

家畜購入資金貸付事業は、予算現額 12,000 千円に対して 1 件 1,000 千円の申請があり、新規貸付を行っており、本件に係る償還は平成 32 年度から平成 35 年度までの 4 ヶ年となっている。また、9 月末現在におけるこれまでの貸付金の償還状況は、調定額 7,475 千円に対し、償還済額 0 円、償還率 0.0%である。

なお、農業の担い手確保に向け、昨年度から開始している農業後継者就業交付金事業による支援対象者は、新規 3 人を加えた 6 人を承認している。

予算執行状況は、歳入予算現額 18,465 千円に対し、調定額 7,675 千円、収入済額 200 千円、調定対比 2.6%となっており、歳出は、予算現額 83,323 千円に対し、支出済額 12,436 千円、執行率 14.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、（有）浜中町就農者研修牧場運営費補助ほか 8 件 10,569 千円が支出済である。

21 教育委員会

教育委員会各課・係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 管 理 課

① 総 務 係

総務係は、主に教育委員会に関すること、事務局及びその他教育機関の職員の任免ほか人事、学校の設置・廃止、奨学資金、学校施設及び教職員住宅の管理、学校施設の使用許可などについて分掌し、業務を遂行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 9,898 千円に対し、調定額 6,843 千円、収入済額 2,951 千円、調定対比 43.1%となっており、歳出は、予算現額 114,425 千円に対し、支出済額 44,687 千円、執行率 39.1%で、主な支出済額は、学校配当ほか需用費 15,811 千円、臨時雇上賃金ほか賃金 12,587 千円などである。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内教育委員会連絡協議会負担金ほか 3 件 901 千円が支出済である。

●奨学金給付状況

大学生・短大生	8 人 (前年対比 増減なし)	月額 11,000 円 (前年同額)
専門学校生	4 人 (前年対比 1 人増)	月額 11,000 円 (")
高校生	22 人 (前年対比 1 人増)	月額 5,500 円 (")
合 計	34 人	年額 3,036 千円 (前年対比 2 人、198 千円増)

●教員住宅使用状況 小・中学校合計 74 戸 (うち老朽戸数 20 戸) 調定額 6,629 千円

② 学校教育係・指導室

学校教育係は教職員の人事、児童生徒の就学及び転入出、教職員・児童生徒の保健衛生福利及び厚生、通学区域、スクールバスの運行・管理及び委託、就学援助に関する事務を執行している。指導室は、学校教育に関する専門的事項の指導事務及び教職員の研修について業務を遂行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 5,839 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%となっており、歳出は、予算現額 122,213 千円に対し、支出済額 53,094 千円、執行率 43.4%で、主な支出済額は、学校用バス運行委託料ほか委託料 26,272 千円、学習支援員賃金ほか賃金 6,871 千円、町教育研究所負担金ほか負担金補助及び交付金 5,588 千円などである。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町教育研究所負担金ほか 15 件 5,588 千円が支出済である。

●要保護及び準要保護児童生徒の状況

小学校	要保護 3 人、準要保護 46 人 (前年対比 要保護増減なし、準要保護 9 人増)
中学校	要保護 2 人、準要保護 26 人 (前年対比 要保護 1 人減、準要保護 3 人減)
合 計	要保護 5 人、準要保護 72 人 (前年対比 要保護 1 人減、準要保護 6 人増)

(2) 生涯学習課・総合文化センター

① 社会教育係・総合文化センター係

社会教育係は、主に生涯学習の推進や社会教育に関することを分掌し、芸術文化の振興、文化財の保存・活用に関すること、青少年教育や成人教育（女性、高齢者、家庭教育を含む。）に関する事務を執行しており、総合文化センター係は、芸術・文化活動の練習、発表の場及びレクリエーション等の利用、図書の貸出し等の事業、郷土資料等の活用及び保存に関する業務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 274 千円に対し、調定額 139 千円、収入済額 135 千円、調定対比 97.1%となっており、歳出は、予算現額 36,797 千円に対し、支出済額 13,171 千円、執行率 35.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町少年少女国内派遣事業負担金ほか 15 件 2,896 千円が支出済である。

●総合文化センター利用状況

利用件数 386 件、利用者数 8,877 人（前年対比 1 件増、8,513 人減）

※ 岬まつり・ルパンフェスティバルが中止となり大幅な利用者の減少となっている。

●総合文化センター図書貸出

利用者数 981 人（夜間 57 人） 前年対比 151 人増（夜間 9 人増）

貸出冊数 3,423 冊（夜間 214 冊） 前年対比 821 冊増（夜間 35 冊増）

※ 毎週火曜日と木曜日の夜間開放（17：00～21：00）を継続している。

② スポーツ係

社会体育施設に関すること、体育（スポーツ及びレクリエーション含む。）の普及ほか、体育振興及び指導に関する事務を執行しており、町内の関係団体と連携し、町民水泳大会や小学生対象の水泳教室や陸上教室、野球教室の開催等に関する事務も行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 513 千円に対し、調定額 374 千円、収入済額 342 千円、調定対比 91.4%となっており、歳出は、予算現額 67,636 千円に対し、支出済額 27,561 千円、執行率 40.8%である。主な支出済額は、各社会体育施設の燃料費ほか需用費 11,048 千円、施設管理賃金ほか賃金 5,885 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町体育協会補助ほか 7 件 3,335 千円が支出済である。なお、9 月末現在でスポーツ振興補助として茶内小学校、散布・浜中・茶内中学校、霧多布高等学校から延べ 16 件の申請があり、1,451 千円を支出している。

●各施設利用状況

社会体育施設等名称		開館・開放 日数	利用者総数 (団体・個人含む延べ数)	前年対比
屋 内	浜中町総合体育館	155 日	6,757 人	558 人減
	農業者トレーニングセンター	151 日	2,100 人	521 人減
	浜中町民温水プール	132 日	3,857 人	1,001 人減
	すくらむ 2 1	152 日	1,300 人	382 人減

	(小 計)	-	14,756 人	1,720 人減
屋 外	総合グラウンド	129 日	855 人	44 人増
	霧多布スポーツ広場	129 日	879 人	473 人減
	農村運動公園	129 日	172 人	23 人減
	町民パークゴルフ場	107 日	1,619 人	1,000 人減
	(小 計)	-	3,525 人	1,452 人減
学 校 開 放 外	霧多布小学校	10 日	77 人	20 人減
	茶内第一小学校	5 日	125 人	11 人増
	霧多布中学校	8 日	84 人	43 人増
	西円地域体育館	30 日	456 人	9 人減
	(小 計)	53 日	742 人	25 人増
合 計		-	19,023 人	3,147 人減

(3) 霧多布高等学校

管 理 係

霧多布高等学校の教職員に関すること、学校施設（校舎・グラウンド・教員住宅）の管理、入学料等の収納、物品の調達及び管理、スクールバスの管理運行に関することなどを分掌し、事務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 13,646 千円に対し、調定額 14,287 千円、収入済額 1,681 千円、調定対比 11.8%となっており、歳出は、予算現額 53,497 千円に対し、支出済額 27,373 千円、執行率 51.2%である。主な支出は、学習支援員、管理人ほか賃金で 6,926 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、海外交流派遣負担金ほか 7 件 5,097 千円が支出済である。

(4) 学校給食センター

総務係・業務係

総務係では給食センターの管理運営、職員の衛生管理及び福利厚生、給食センターの防火・衛生管理などの事務を執行し、業務係は、給食物資の調達、給食の献立及び調理、供給配送など給食業務に関することを分掌している。

センターの運営については、調理員 9 人を臨時雇用し、年間 195 日を基準として給食の供給を実施しており、平成 30 年 4 月からは霧多布高等学校にも給食の供給を開始し、9 月末現在の給食実施状況は、供給日数 102 日で 63,921 食となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 328 千円に対し、調定額 328 千円、収入済額 106 千円、調定対比 32.3%となっており、歳出は、予算現額 62,073 千円に対し、支出済額 24,180 千円、執行率 39.0%である。主な支出は、調理人賃金ほか賃金 10,251 千円、光熱水費ほか需用費 8,614 千円、配送車運行委託ほか委託料 3,903 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路管内学校給食研究協議会負担金ほか 1 件 20 千円が支出済である。